

議会運営委員会会議録

招集（開催）年月日	平成31年1月7日（月）	
招集（開催）場所	岩美町役場 第1委員会室	
出席委員	田中委員長、寺垣副委員長、澤委員、杉村委員、足立議長、柳副議長	
欠席委員	なし	
職務出席者	西垣町長、長戸副町長、寺西教育長、平井病院事業管理者 鈴木議会事務局長	
開会	午前9時59分	
記録者	議会事務局 武田補佐	
審査事項	別紙日程表のとおり	
審 査 の 経 過		
日程	発言者	内 容
開会	田中委員長	*起立、礼 新年おめでとう。 ただ今から議会運営委員会を開会する。 町長よりあいさつ願いたい。
あいさつ	西垣町長	あけましておめでとうございます。 旧年中に変わらず、よろしく願います。 今年は、イノシシ年。イノシシは猪突猛進と言われるが、突っ走るだけでなく立ち止まって考え、方向修正しながら岩美町発展のために頑張りたいので、よろしく願います。
	田中委員長	足立議長。
	足立議長	おめでとう。昨年は、執行部には大変お世話になった。ありがとう。本日は、議会の予算を協議する委員会。私としては、初めて予算要求書の説明を受ける。新年度は、議会が執行部と両輪と言われるよう、なれるよう議会も研修会を持たせていただき努力をさせていただきたい。予算の中にも、そういうことを要求するかと思うが、よろしく願います。今年もよろしく願います。
	田中委員長	副町長。
	長戸副町長	おめでとうございます。今年、年男で還暦の年である。西垣町政も2年目。西垣カラーを31年度の予算の中で示していけるよう、管理職にも指示した。2月の常任委員会で新しい施策も出していき審議いただきたい。今年一年よろしく願います。
	田中委員長	教育長。
	寺西教育長	おめでとうございます。教育委員会は、今年大きな事業がある。年明け早々に小学校のエアコン入札、臨時会をお願いすることになるかと思う。また、秋には中央公民館・図書館のオープンがある。激動する教育界、様々な課題があるが、議会のご指導・ご鞭撻をいただきたい。よろしく願います。
	田中委員長	病院事業管理者。
	平井病院事業管理者	おめでとうございます。 超高齢社会の到来。過去の経験測では理解できない状況が起きて

		<p>いる。町民に喜ばれる医療をしっかり提供していきたい。本年もよろしく願います。</p> <p>(執行部退出 10:06)</p>
協議事項 (1) (2)	田中委員長	<p>本日の協議事項に入る。</p> <p>(1) 平成31年度の議会関係予算要求案について</p> <p>(2) 平成30年度補正予算案について</p> <p>事務局長説明をお願いする。</p>
	鈴木議会事務局長	<p>資料のP1～説明させていただく。</p> <p>【予算内容等説明】</p> <p>平成31年度の当初予算については、30年度と比較して355千円の減額。主な減要因は、議員共済の負担金率の減によるもの、改選に伴う物品購入費の減である。なお、議員報酬については、議員報酬調査特別委員会が設置され、審議の結果によっては、増額、減額となるかと思う。3月定例会までに結論が出れば当初予算に反映する必要があると思うが、追加議案による補正も考えられる。場合によっては6月以降の補正で対応になるかと思う。</p> <p>平成30年度の補正予算についても、議員人件費は、議員報酬調査特別委員会の結論によっては、変更がでてくる可能性がある。</p> <p>続けて、町独自の議員研修の検討状況、委員会等会議録の省力化についての経過状況を説明させていただく。なお、それぞれ資料を配布させていただく。</p> <p>議員研修について、資料は、龍谷大学の政策学部准教授、現在は教授である土山先生の講演会であるが、土山先生は、平成28年度鳥取市主催で東部4町との合同議員研修『質問力で政策力』という講演会があったが、先生は、全国の自治体の議員研修で、一般質問をテーマとした研修会を実施されている。鳥取市で開催した時は2時間程度の講演会でその時の謝金は、10万円と交通費を支払っている。配付している資料の北海道の芽室町では、平成26、28年度に講演会とグループワークを2日間の日程で開催し、謝金は北海道までの交通費を含めて20万円である。比較的経験の浅い議員が多い中、一般質問をテーマにお願いするとしたらこの先生がいいかなと思っている。まだ回答はいただけていないが、3月定例会までに都合がつけば議長交際費から流用して対応できるかと思う。来年度については予算計上させていただいている15万円で実施させていただきたい。3月定例会を控えているので、今年度1回は実施したいと思っているが、土山教授の都合がつかなければ、今年度は全国議長会の職員で検討したいと思う。その場合は、交通費のみでOKであるが、謝礼的なものは、交際費で対応させていただきたいと思う。</p> <p>会議録作成については、省力化をという意見をいただいている。現在は、本会議については議事録発行センターに音声データを渡して文字をおこしていただいている。それを、事務局で確認し、最終的に業者がHPに掲載するとともに、8冊製本納品いただき、原本は事務局に、また、図書館、議会図書室に1冊ずつ配架していると</p>

		<p>ころである。このしくみで委員会、全協もするというのであれば、ボリュームを考えると本会議の会議録作成と同じくらいの金額の220万円が必要になるかと思う。</p> <p>もう一つ、配布している資料をご覧いただきたいが、このシステムは、会議録は自分で作ることになるが、音声データをコンピューターが自動的に文字化し、職員が音声を確認しながら違う箇所を修正し会議録を作っていくものである。HP に掲載するとなると別のしくみが必要になるが、文字化するためのシステムとして、配付資料のものがある。実際購入すると一式250万円と保守が年間30万円必要。またこの方法には、購入と毎月定額の利用料を支払うクラウドという方法がある。クラウドは、外部のサーバーにあるシステムでインターネットを介して運用していく仕組みであるが、定額で毎月8万円の費用がかかる。いずれも初期設定が必要で12万円が必要とされている。音声を文字化する場合にどれだけ正確に変換してくれるかということが事務局もわからないので、22日に業者がデモンストレーションに来る。また、精度をあげるためにはクリアな音声でないと、ばらつきが出てくるので、マイク設備の整備も必要になるかと思うが、もう少し検討時間をいただきたい。</p> <p>なお、購入になると、そのシステムをずっと使うことになるが、クラウドだと本体のサーバーがどんどんバージョンアップし、変換の精度も上がっていくとのことである。</p>
	田中委員長	<p>平成31年度予算については、新規は議員研修の15万円であるが、何か質問・意見はないか。</p> <p>足立議長。</p>
	足立議長	<p>旅費の部分で人権学習の研修費用が多いが、いつまでするのか。</p>
	鈴木議会事務局長	<p>参加は、議会がこれまでの申し合わせの中で、積極的に参加しましょうということで参加してきていると理解している。どう考えるかは、その時々議員さんで考えていただくことかと思う。</p>
	足立議長	<p>今は、半強制である。希望制にしたらダメか。</p>
	鈴木議会事務局長	<p>県の方は、全議員対象である。</p>
	柳副議長	<p>議長の気持ちもわかるが、現在は、同和的な部分の差別解消ではなく、人権とつく。町をあげて取り組まなければいけないということで議会も積極的に参加すべきという判断もあった。旅費に記載されている分については、基準ということで行っていただくということで、議会も人権教育の推進という中で参加させていただきたい。</p>
	田中委員長	<p>県の方は、一昨年から分科会にそれまで消えていた部落解放という名称をつけだした。</p>
	足立議長	<p>絶対に行くなというのではなく、たけていない人が行ったらということ。</p>
	澤委員	<p>だから、希望者が行っている。</p>
	柳副議長	<p>名古屋の方は、議長に制約がかかっている分である。</p>
	鈴木議会事務局長	<p>経緯はわからないが、津村議長も長かったが、この分は参加されていた。その他は、偏らないように2名の希望をとって参加してい</p>

		ただいている。
	柳副議長	他の分は、出席したいという希望制。
	足立議長	人権を学ぶなら、色々な研修がある。差別に関わる人権研修ばかりに行くのはいかがかと思う。それがベターという協議がなされたのならやむを得ないが、もう少し選択肢があってもいいのではないだろうかと思う。
	田中委員長	希望者がなければ、執行しないということにしたらいいのではないか。
	柳副議長	もしも行かなければいいと委員長が発言されるなら、一度議員の意見を聞いて決めなければいけないと思う。
	鈴木議会事務局長	対外的になるが、町の人権推進協議会に議会も入っていて、議長も委員。町内の色々な団体が入っているようだが、団体の参加状況が出たら、議会は参加していないということになるかもしれない。
	澤委員	全国大会は強制ではなく、希望者制。希望者がなければやむを得ないが、希望者には行ってもらったらいいと思う。人権については、内容がどんどん変わってきている。それについていくためには、参加した方がいいのではないか。
	田中委員長	これに限るということにすると、人権って何ということになる。人権啓発に予算を組んでいるなら、憲法の基本的な人権の研修会等、他の研修会もあれば参加したらよいと思う。関係されている団体の云々ではないと思う。これに限っているのが悪い。
	柳副議長	議員派遣に関わってくる。どこかで区分されているのではないかと思う。
	田中委員長	議長が提起されているのは、なぜこの4つなのかということ。
	鈴木議会事務局長	町の人権推進協議会から案内があってそれで参加している。
	杉村委員	町の人権推進協議会が参加依頼しているなら、議会は人数を減らす可能性があっても参加したらいいと思う。希望者をとって希望者がいなければ、順番制が現在の状況。人数は減らしても、人権推進協議会との関係の中でおいておくべきかと思う。
	足立議長	それ以外でも行きたい研修会があればということで、幅をもっておこう。他に希望がでてきたら、その時にこの場で議論しよう。
	鈴木議会事務局長	議会の活動と町の予算の関係・権限がわからないところがある。議会がこうしたいと言っても、予算の執行権は議会にはない。
	柳副議長	本来なら政務活動費的なもので対応しなければいけない。議員活動に対する研修、セミナー等は予算との兼ね合いがある。
	足立議長	年間を通して議会が議論して認められた部分については、執行部も認めて下さいというふうにしたらいいだろう。
	田中委員長	こういう議論があったことを、財政にしっかり伝えて欲しい。
	鈴木議会事務局長	財政とも、財政課長査定で協議する。
	田中委員長	この4本については、議会運営費で上げなくてもいいのではないか。町全体で取り組むのだから。執行部が予算を組み、町全体の方針で人権に取り組む。議会分も町の予算として組んで、その中で議

		会からも参加して下さいと言うべきではないか。
	鈴木議会事務局長	議員が個人で参加するなら町が予算をみることはない。議員として参加するなら、議員派遣となり、それは議会の活動となってそれに伴う費用弁償となり議会運営費でみるべきである。
	田中委員長	町が企画する取組に各分野からでる。議会も構成分野の1つとして。
	鈴木議会事務局長	それぞれの団体で予算を組んで参加している。
	田中委員長	とりあえず、財政に伝えて欲しい。
	杉村委員	土山先生の講師謝金であるが、鳥取市での研修会に参加してその成果がでていない。研修会をすることはいいことだと思うが、土山先生の連載を雑誌「地方議会人」で読んでいる。来られても研修を実施するなら明らかになっている研修内容に加えて実になるものとしていかなければいけない。実施においては、しっかり考えた上で実施していただきたい。 また、旅費で町村議会議員セミナー参加旅費が非常に勉強になるのに少ない。広報研修会の旅費を削ってでも増額すべきと思う。
	田中委員長	研修会は、実のあるものにして下さいということだな。
	柳副議長	議長が提案された理由は、新しい議員に基礎の基礎を習得していただきたいという思い。当然、するべきものである。
	足立議長	来年度分については、具体的に何もしていないので、15万円の要求の中身についてはこの場でまた相談させていただきたいし、意見も言って欲しい。議長交際費の中で限られた予算。日程的にも急務な研修会だと判断した。今年度についてはそうさせていただきたい。また来年度については、協議させていただきたい。
	田中委員長	来年度の15万円については要求し、内容についてはまた協議・検討する。
	足立議長	全国広報研修会は、なぜ日帰りか。
	鈴木議会事務局長	以前は、広報研修会は2日間の日程開催であったが、近年は午後から17時までの研修会なので、飛行機の往復日帰りで可能。
	足立議長	最終便に乗って日帰り可能であるが、多少時間の余裕も見て欲しい。できたら17時まであるものなら、もう少し余裕のある行動を考えて欲しい。
	柳副議長	先程、広報研修会を減額してでもという意見があったが、今、広報も高度になってきている。そういうことは考えなければいけない。
	杉村委員	本会議費用弁償は、止めるべきである。県内3町村しか出していないし、日当は半日当だけのところ、旅費だけのところもある。岩美町は突出して1日日当・交通費をだしている。止めるべきである。
	柳副議長	ださない方がおかしい。
	田中委員長	議会に関わる旅費は本会議、委員会。

	足立議長	報酬に関わってくるので、議員報酬調査特別委員会で議論しよう。
	鈴木議会事務局長	旅費の中には、交通費と日当が含まれた計算になっており、条例で支給することになっている。
	田中委員長	問題提起があったので、特別委員会で議論する。
	足立議長	瑞風推進協議、議会として、本当に行ってお願ひするのか。
	柳副議長	JR 西日本に正副議長が町長と行く時の旅費。
	鈴木議会事務局長	平成29年に瑞風の運行がはじまるときに、町内の観光も組んでいただきたいという思いで執行部の動きの中で一緒に行った。1回だけではいけない、継続して行こうということで30年度も組んでいるが、実行していない状況。執行部の動きもわからない。31年度は瑞風停車の計画の3年がくるということもあり、どうがいいかなということだが。
	足立議長	初めての方もいるので、そういうことの趣旨をきちんと説明する機会をもって欲しい。
	澤委員	来年は、沖縄の児童交流が30周年となる。これは、議会として特別に考えなくてもいいのか。
	柳副議長	町が主体となってする事業に議会として参加する形になると思うし、議会独自となれば、総務の行政事務調査をされればよいと思う。
	澤委員	議会として全体として30年という節目をしなくてもいいのか。
	鈴木議会事務局長	教育委員会にも計画がないかたずねたが、国頭村も具体的な計画は出ていないし、教育委員会としても出来ていない。そういう中で、議会だけ動くのはどうかと思うので、執行部に合わせたいと思っているが。
	足立議長	事務局は、配慮している。執行部の動きに合わせて対応をとらせていただきたいということで確認を取って欲しい。
	澤委員	相手があることなので。
	田中委員長	国頭村も、来年度予算の本格化はこれからだろうから。
	足立議長	ただ、財政にもそのことはきちんと言って理解を求めておいて欲しい。
	杉村委員	日本海新聞は、とらなくてもいいのでは。
	副議長	他議会は、何紙とっているのか。
	鈴木議会事務局長	確認していない。
	田中委員長	何のためにとっているのかということ。
	足立議長	とることにより、広告掲載の判断がつかない。
	田中委員長	止めたら広告掲載の依頼は来ないだろうか。
	足立議長	とっていないところは、格段に件数が少ない。今、岩美町と岩美町議会の両方にくるが、これからは岩美町だけの明記にする。
	田中委員長	その他、補正もあわせてないか。

柳副議長	補正で旅費が減額となっているのは、地方創生のからみの中で先進地視察しようということで組んでいた残額か。今年度も、研修を受けて視察に行きたいということになれば、65万円の未執行の理由は。
鈴木議会事務局長	本会議の開催実績が4日分減。行政事務調査で約50万円の減などである。
柳副議長	通常の行政事務調査の減で、地方創生の分ではないのだな。
鈴木議会事務局長	地方創生の視察旅費は、当初から組んでいない。
杉村委員	本会議費用弁償を特別委員会で協議したいということだったが、特別委員会は報酬についてということなのだが、費用弁償も決議された委員会の範囲に入るのか。
田中委員長	政務活動の問題とか、派生的な問題として議論の対象となるであろうものを予想してあえて等をつけた。
鈴木議会事務局長	等はつけていない。
柳副議長	議員報酬についてということで、金銭的な部分が多数絡んでくるであろうということで、費用弁償の部分なしでは語れない。
足立議長	色々な意見が出せれる場であればいいと思うし、最終的なまとめの部分でまとめをすればいいと思う。その間に色々な意見は出し合えればいいと思うが。
田中委員長	議員の報酬問題を考えると、いわゆる報酬だけの議論にはとどまらない。杓子定規に議員報酬以外のことはあってはならないということにはならないので、外れた話ではないと思う。
柳副議長	月、年間の報酬月額をみても、費用弁償やもろもろの入る部分をみなければならぬ。費用弁償が、当然でてる。
田中委員長	議論の中では、そういう話の中できたと思うが。
杉村委員	それなら等をつけるべき。
田中委員長	議論の対象を縛ってしまったら・・・。
柳副議長	積算根拠を考えれば当然でてる。何を持って議論するのか。
足立議長	みなさんの色々な意見を議論の場では出して欲しいから、発言を制限するような委員会になって欲しくないと思う。常識の範囲の中で進めて欲しい。話の中身によっては、制限しなければいけないという部分もないとも限らない。常識の範囲の中で議論しよう。
田中委員長	どういう広がりや深まり方になるかを今から制限すべきではない。そこまでは議論の対象にはならないということは有り得るかと思うが、議員報酬以外の言葉は議論の対象にならないと制限してしまったらそもそも議員報酬の議論、検討ができないと思う。現時点では、受けた答申に対する対応策を示さなくてはいけない。議長の提起から言えば、話を深めて議論するということになれば、当然色々なことに波及する。常識的な範囲で深まるような協議・議論をしたらいいと思う。委員会の中では、議論に参加してもらい、発言をしていただきたい。杉村委員よろしいか。
杉村委員	いい悪いもそういうことではないか。

	柳副議長	委員長の配慮をわかってあげなければいけない。
	田中委員長	数字のことは以上とする。 局長から説明のあった2つのことについて、少し意見を。 土山教授の研修は、出来れば3月議会の準備の中で役に立つような時期にしたいと思いアポをとっているところなので回答を待ちたい。鳥取市との違いは、話を聞くだけでなく、赤ペン先生をしてもらうことであり、全然違う。是非、実現出来たらと思う。 音声認識システムの件については、結局、どんな段取り図になるのか。
	鈴木議会事務局長	箱根町が平成21年から導入し、6年リースでマイクシステムも一緒に整備している。その後、リース期間が切れて無償更新となっている。会議録検索システムもしてもらっている。箱根町は、職員3人と非常勤職員1名この方は事務局OBであるが、この方が議事録作成をしている。定例会の記録も、次の定例会までにはHPで閲覧出来るようにしているとのことである。
	足立議長	22日に業者が来る時に、議運の正副委員長も一緒に説明を聞いてもらった方がいい。
	鈴木議会事務局長	実際にICレコーダーで録音したものを文字に変換してみたり、本会議場で録音した音声データを文字に変換してもらい、違いを確認したい。私の気持ちとしては、もう少し時間的余裕をもって、平成32年度の運用に出来ないかと思う。
	杉村委員	今220万円かけている。AIをいれると更に220万円かかるのか。つまり、二重のことになるのか。
	鈴木議会事務局長	システムを導入すると100万円。
	杉村委員	どこまで丁寧な会議録が必要かということもある。
	足立議長	10年先を想定したような話をしなければいけない。
	鈴木議会事務局長	10年先を想定するとなると、委員会等の録画等も含まれるのかと思うが。そう考えると全体的に考えていかなければいけない。
	田中委員長	文字の記録を残すのが、かなっているのかどうかということだ。その他、何かあるか。
	杉村委員	今までから言っていることであるが、一般質問生放送、休日開催、会議録のHP公開など議論が全然進んでいない部分があるので、少なくとも次回の議運で議論できるようにしていただきたい。公費と政務調査との支出仕訳についても、それ以外にもあるが、進んでない所があることをご承知いただきたい。また、去年1月5日の議運で号外発行が決まり、3月1日に議会だより号外が発行された。これが議会の公式な見解であると町民は思っている。ただ、杉村議員としては全然主張を変えていないのだから、第2、3の号外を発行するのか、岩美町議会の正当性を町民に理解してもらうのか、ないがしろにしたままでは議運としては尻切れトンボになっていると思うので協議していただきたい。

	足立議長	今日の主たる議題は、予算のあらの部分の会議。年間を通じての意見等、今後あれば（4月以降もあれば）執行部には増額しなければいけない部分については協議をさせていただくので、その点については、何かあれば言って欲しい。
	田中委員長	何を議論するのか。
	柳副議長	議会は、だした号外について訂正も何もしてないということはそのままという意味。
	田中委員長	発行した当時の議論では、今後一切あのことについては議会でまとまった行動・言動することはやめるということで、終わっており、あれ以上のことはしない。杉村委員がどういう反応するかということは一切抜きとして。議論する余地はない。
	杉村委員	別のことで、議員報酬調査特別委員会の日程をこの議運で決めるということだったが、決めないか。
	田中委員長	議会運営委員会で決めるのではなく、議長・副議長・特別委員会の正副委員長が集まるのでこの機会に相談して決めるということだった。
	杉村委員	前回の特別委員会の中で、日程を議運で決めるという話だったと思うが。
閉会	田中委員長	<p>そういうふうに関こえたかもしれないが、私の真意は、正副議長とも相談して、第1回目以降の日程については7日に議運があるのでその機会に決めたいという話をしたつもりだった。それを議運で決めると聞こえたのだったらご容赦願いたい。</p> <p>その他。 以上で終了する。 * 起立、礼 12時09分 閉会</p>

上記のとおり会議の次第を記録し
これを証するため、ここに署名する

議会運営委員長

田中克美

